

脱穀

2018年11月11日 復元された猪高緑地の棚田で最も多い人数（スタッフを除いて100名以上の参加）の脱穀を行いました。

猪高緑地の東側では名東自然倶楽部の田んぼグループが脱穀を行い。西側では名東生涯学習センター主催の「ふれあい学習祭り」に竹クラフトグループが参加しました。11月は最もイベントの多い月になり、イベントがバッティングしてしまいます。

子供だけでなく初めて脱穀機や唐箕（とうみ）を見る親さんも多い様で、絶好の秋晴れの元、積極的に作業を行って頂きました。

イベント前 機械のセッティング

左より

足踏み脱穀機 3台

篩い 2台

唐箕 2台

これで12アール分の脱穀を行いました。



はぎかけから稲の束を運んでいます。
向こうの方では脱穀が始まっています。

脱穀の様子

大混雑 機械の間隔が狭すぎた？



千歯扱き、千把扱き（せんばこき）
田んぼグループメンバーも初めて
足踏み脱穀機の効率の良さが
良く分かりました。



左に唐箕が写っている
黄緑色のビブス着用がスタッフ



足踏み脱穀機も唐箕も 50 年以上前に
製造された物と思われます。修理を行
いながら、だましだまし使っていま
す。